

# 謹賀新年 2010

岐阜大学応用生物科学部

園芸学研究室

福井 博一 [fukui@gifu-u.ac.jp]

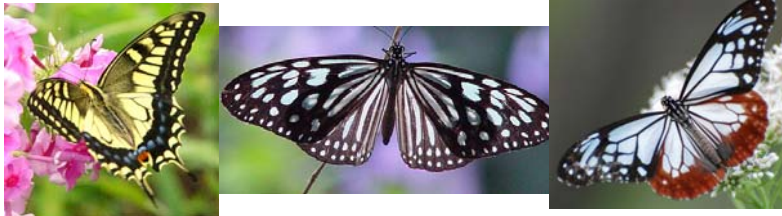
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~fukui/index.htm>

今年は寅年です。虎のように威風堂々とした年を過ごしたいと思います。花が人の心を豊かに満たす必須アイテムであることを、教育がこれからの日本の将来を支える力であることを、強く自覚して、大きな跳躍を遂げたいと思います。



トラウマ?

花き業界は数年前から市場価格の低落が続いて、消費者の「花離れ」のトラウマに陥っています。このまま「花離れ」のトラウマに囚われれば、産業としての存続の危機をむかえてしまいます。しかし、本当に日本の消費者は「花」を欲しくないと言っているのですか？ 「欲しい花がない！」と言っているのではないですか？ 生産者は「欲しい花が解らなくなっている」のではないですか？



左の蝶をご存じですか？ 「キアゲハ」、「ゴマダラチョウ」、「アサギマダラ」です。彼らの英語名は「Tiger Butterfly」、「Blue Tiger Butterfly」、「Chestnut Tiger Butterfly」です。お馴染みの蝶ですが、寅年を担う適任者です。思いがけない所に寅年の主役がいるのですねえ。（花業界の主役も思いがけない所に！）

これからの花業界の発展のためには、近未来の流れを予測することが重要です。現在は「野菜苗」が園芸業界をリードしています。これからは「インテリアグリーン」が園芸業界のキーワードです。

仕事に一段落した人達は、これまで過ごしてきた歩みを改めて歩むことを思い出してください。詳しくは、新年から再開する「教授の一言コラム」をお楽しみに！【ザ・タイガースって知ってます？ 沢田研二、岸部シロー！】



いつかはたらふく食べたい「トラフグのてっさ」！

この気持ちは花を楽しむ心と同じです。バラの花に囲まれた誕生日を！ 結婚記念日には大きなバラの花束を！ この心の満足を満たすためには少々の出費も・・・！ この気持ちを理解できなければ花を生産する・流通・販売する資格はありません！



左のお二人は日米の「寅さん」です。大学の先生は清廉潔白であるべきです。女性関係には十分に注意して、アメリカの寅さんの二の舞を演じないようにします。

日本の寅さんのように、大学の教授らしくない自由奔放な活動を目指してきましたのですが、次第に首輪が締まってきました。学部長には「放し飼い」をお願いしたのですが、聞き入れられませんでした・・・。

そろそろ覚悟を決めないといけな時期に来たのかもしれない。

張り子の虎のように虚勢を張ることなく、中身を充実させ、実質を重んじる活動に励みたいと思います。



タイガーといえばポットですね！周囲の人々に、いつでも暖かさを提供できるタイガーポットのような人間を目指します。



2010年は寅年ですが、野球は当然、ドラゴンズです！！



「ホワイトタイガー」は稀に現れる突然変異個体ですが、「白虎」とも呼ばれて古代中国の「西の守護神」と言われています。

バラはヨーロッパの花と考えられていますが、実は中国でも漢の時代から育種が行われた古い歴史があります。「西洋」からのバラの文化に対抗して、「アジアのバラ文化」を拡げたいと活動してきました。ようやく、「アジアのバラ」が大きな流れになってきているように感じます。『西洋のバラ』に対する守護神として今後も活動していきたいと思ひます。



「屏風の虎退治」のトンチ話で有名な一休禅師。大学は今、法人化後の六年間の第一期を終え、2010年は次の第二期に突入しようとしています。一休禅師のような知恵を働かせて、この難関を乗り切りたいと思ひます。受験生人口が減少し、大学も経営の危機に陥っています。このような状況の中で、社会で活躍できる大学生を育てるために「より良い教育を行う」こと、社会に貢献できる「より優れた研究を行う」ことこそが、今の大学に課せられた責務だと感じています。タイガー戦車のように、正攻法で大学の教育・研究を進めていくことが、私にとって最も重要な2010年の抱負です。



時々、力不足でホワイトタイガーならぬ「トラ猫」になってしまうこともあります。その節にはお許しを・・・。

